

リハビリ通信

トピックス

この春、リハビリテーション課には12名の職員が加わりました！
すべての患者さまの「最大限の機能回復」「最大限の能力の活用」
「社会生活への復帰」を目指して、リハビリテーションサービスの
充実を図っています。



東大阪病院のリハビリテーション

患者さまのリハビリテーションプログラムは、百人百様。入院リハビリ・外来リハビリのどちらにおいても、お一人おひとりにあわせたプログラムを提供しています。

それは、同じ病気やけがであっても、患者様の心身機能の状態、年齢や性別、仕事、家庭での役割、趣味、家族・住宅環境、ご本人様やご家族の思い(リハビリによって何ができるようになりたいか・生活の中で大切にしたい事や実現したい事は何か)を反映して、リハビリテーションプログラムを作成するからです。

肩関節疾患・骨折・脳卒中・廃用症候群・緩和ケアと多様な患者様に対応しています。

「最大限の機能回復」をめざして・・・

病気やけがによる心身の混乱を短期間におさめ、最大限の回復へと向かうように関わります。手足の動きや感覚の回復、座る・立つ・歩く動作の回復、物を操作する力の回復、食べる・話す・書く・聞く力の回復、認知機能の回復など、各専門職が最善を尽くします。



理学療法士による
肩関節のリハビリテーションの様子

「最大限の能力の活用」をめざして・・・

患者様ご自身の力やご家族様の力を発揮して、時に便利な道具を使用して、生活上で出来る事を増やしていきます。ご自宅での生活を想定しての練習や、訓練場面で出来た動作を病棟生活の中で活かしていく事、試験外出・外泊、実際に生活されるご家族様との合同練習など様々な人物・機会を活用していきます。



作業療法士による
日常生活動作リハビリの様子

「社会生活への復帰」をめざして・・・

在宅生活から職業復帰まで幅広く対応しています。ご自宅の環境調査が必要な場合は、在院中に担当療法士が家庭訪問を実施します。当院から遠方にお住まいでも対応しています。生活上必要と考えられる場合は、買い物や交通機関の利用練習なども実施しています。



言語聴覚士による
訪問リハビリテーションの様子

急性期から在宅、機能訓練から職業復帰まで、49名の療法士が担当いたします！
(平成24年4月現在：理学療法士29名・作業療法士12名・言語聴覚士8名)